

第6回 ナース川柳 “ひょうご” 優秀作品

兵庫県看護協会 会長賞

手島美津子

連れが逝き ふたたびの春 看護みち

兵庫県健康福祉部 部長賞

酒井 龍輝

帰るとき いつも聞こえる お大事に

神戸市健康局 局長賞

中橋 莉玖斗

おじいちゃん 若いナースに 一目ぼれ

兵庫県川柳協会 理事長賞

丸山 正人

病室の 異変を見抜く ナースの目

成人一般部門賞

岡本 潮里

ナースの手 離さぬ老母 退院日

看護職部門賞

松谷 今日子

ナースの手 心の扉 開く鍵

看護学生部門賞

松本 彩花

自分より なんでも知ってる 患者さん

ジュニア賞 (高校生の部)

足立 春花

看護師が つないでくれた この生命

ジュニア賞 (中学生の部)

岩崎 朱華

リハビリの 背中支える ナースの手

ジュニア賞 (小学生の部)

坂部 優衣

お薬が ナースの えがおで タピオカに

ナースのじぎくちゃん賞 (看護職部門)

中東 真紀子

母みとり 娘に 戻り 涙する

ナースのじぎくちゃん賞 (看護学生部門)

江口 和也

ケア拒む 乙女の 年齢 八十年代

優秀賞

見て聴いて命を 護る 看護職

中村 友理

めぐりあう 命すべてを 支えたい

加藤 南帆

「痛くないよ」その一言で がんばれた

市位 琴美

ナースは ねかげで しんどい しごとする

黒田 楓馬

夜勤明け 帰れば ママになる ナース

藤原 紘一

総評

兵庫県川柳協会
副理事長
村上 氷筆

第6回
ナース川柳「ひょうご」
1113句の開花

今回も投句を頂いた方々の益々の増加と作品の質の深化に感激いたしました。看護協会会長賞は連れ合いの介護の体験を再び人生の道とするという覚悟を感じ入りました。兵庫県健康福祉部部長賞は患者に対する心からの思いやりが胸に迫ります。神戸市健康局局長賞の祖父のカワイイ看護師への感想は、思わず笑いを誘いました。川柳協会理事長賞は常に患者に注がれているプロのナースの目の確かさ、厳しさが感じられます。成人一般・看護職・看護学生部門の受賞作からは、成人の看護師に対する思い、患者に対する看護師の在りようが伝わってきます。ジュニア賞の各部の作品には祖父の命を救ってくれた看護師への感謝、ナースの手が支えてくれる命、看護師の一言で薬がタピオカみたいというステキで身近な比喻など、どれも個性的な作だと思えます。優秀賞以下のどの作品も看護というものをしっかりと見つめ、自分の言葉で深い思いが表現されています。来年も素敵な作品に出会えますように。